

鳥取県中部発

未来ウォーク 10周年を終えて

上

伊能忠敬が全国を測量して回った足跡をたどる「伊能ウォーク」が1999年、2000年に日本ウォーキング協会によって全国各地で開かれた。それをきっかけにPTA関係者らの有志による手づくりの「第1回くらしづくり」の「第1回くらしづくり」が01年4月、倉吉市で開催された。

運営ボランティア延べ500人

翌年からは2日間の日程で鳥取県中部を会場に全国から参加者を募集し、実行委員会形式で第3回まで運営された。実行委員にはさまざまな分野の人が集まっ

を考え、地域に根ざした活動をする「グローバル」を実践してきた。10周年を迎え、参加してくれた若者たちが社会人となって再びこの大会運営に携わり、若い力や新しい考えを出してくれるようになり、未来ウォークもいよいよ第2ステージに入った。

てきた。試行錯誤を重ね、NPOとして活動することになった。幅広いなに、実行委員会の主要メンバーにより、04年

NPO未来は「地域と子どもの未来を創造」することを基本理念としている。子どもたちの未来のために、人づくりを通して仲間

子どもの力は無限であり、若者たちがうまく力を発揮できる

にNPO法人未来を設立し、大会運営に当たった。鳥取県という日本で一番人口の少ない小さな地域からウォーキング大会を通して情報発信し、「Thin

をつくり、人間関係を築き、まちづくり、人づくりの基本となる健康づくりを考え、活動してきた。

Global Act Local」という考えのもと、全国レベルで物事

この大会運営も未来の人づくりとなる中高生や学生ボランティアを中心とする延べ500人もボランティアスタッフに支えられて

場を提供していくことが、大人を刺激し、地域社会の活性化につながる。そして、鳥取県から全国、世界に向けた情報発信ができるのではないかと思う。

松田 隆(NPO法人未来副理事長)